

市民活動状況  
(12月末日現在)

市内NPO法人数 29 団体  
当センター登録団体数 150 団体  
来館者数 1,028人  
印刷機利用枚数 12,775枚

# ひびき



発行枚数 500枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
会議スペース・市民交流サロン・作業スペース・印刷機・紙折り機・多目的室等(1階)や  
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)がご利用いただけます。  
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
E-mail center@ryugasaki-shiminkatsudo.net URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



## 市民団体活動紹介シリーズ No.52「すみギターアンサンブル」

目指せ！市民活動日本一

わたしたち「すみギターアンサンブル」は2007年に発足し、ギター合奏団として活動しています。ギターを習っている、久しぶりにギターを手に取った、など色々なメンバーが集まっています。パートも定期的にシャッフルするので、隣に座るメンツも定期的に替わり結果的に皆で和気あいあいとした雰囲気です。

現在の発表の場は角圭司講師の教室発表会の他、龍音祭などあります。取り組む曲もクラシックからラテン、映画音楽など多岐にわたっています。

月に2回、土曜日の午後集まり角講師の指導のもと、次の発表の場に向けて練習しています。メンバーは随時募集しています。すみギター教室のホームページのお問合せから連絡をすることが出来ますのでご興味のある方は遠慮なくメールください。



# りゅうがさき市民活動フェアinサプラスクエア サプラ2026開催案内

会場: サプラスクエア サプラ フェスタコート・光のモール  
(1階サプラモール)

日時: 2月21日(土)22日(日)11:00~16:00

市内で活躍している市民活動団体(活動センター登録団体)や市内高校生の活動をパネル展示にて紹介します。

ステージ発表では楽器演奏・ダンス・踊り等や、活動体験コーナー、福祉団体による手作り品販売等内容盛り沢山です。

またパネル展示をご覧になった方へは景品を差し上げます。



## 「トークセッション農業女子が語る～地域の農業に若者が参入するには！」報告

1月18日(日)1時30分～3時30分、市民活動センター2階大会議室にて表題の講座を開催しました。トークセッションは農業女子を代表して横田農場の横田祥さんに来ていただき、市民活動センター企画運営アドバイザー植竹さんと対談していただきました。参加者は23名＋オンライン。3グループに分かれての講座となりました。

まず、植竹さんは自己紹介の後、参加者に農業のイメージについて質問を投げかけたところ、「大変な仕事」「日焼けする」「苦勞が多い」「暑さ寒さの中の大変な仕事」といったネガティブな回答が多く寄せられました。

そして横田さんの自己紹介と活動紹介。そして植竹さんとの対談。その内容を纏めると、横田さんは市内中学5校のアンケートで、なりたい職業の回答欄に農業がゼロパーセントだったことを問題視し、この打開策として2020年に「AGRI BATON PROJECT」を立ち上げた。この活動は農業の魅力が詰まった絵本を製作出版し、子供たちでも分かりやすく農業の楽しさを教えるためでした。最初は市内近隣の農業女子3名で始めたが、今では全国36都道府県で202名及び3団体が加わった全国組織に成長した。絵本の製作費はクラウドファンディングで集め、この募金活動を通して仲間が増えた。出版した絵本は「おいしいまほうのたび あさごはんのたね」と「おいしいまほうのたび きょうのよるごはん」の2冊。そして全国の小学校に出向き、絵本を子供たちに見せて食育活動を続けた。また、農業人口の減少と高齢化といった日本の農業の危惧すべき現状についてもお話しいただきました。

横田さんたち「AGRI BATON PROJECT」の皆様は忙しい農業の傍ら、こうした活動が評価され毎日農業記録賞 最優秀賞、第7回食育活動表彰 農林大臣賞(農林漁業者等の部)、茨城県 新しいいばらきづくり賞、いばらきチャレンジアワード「支え合い2023」チャレンジいばらき県民運動理事長賞と、たくさんの賞を受賞されました。

対談は1時間ほど続き、10分休憩の後、農業に若者が参入する方法についてグループごとに話し合いをし、最後に感想を述べていただきました。

今回の講座はとても難しいテーマでしたが、将来の日本の農業を救うヒントがたくさん散りばめられていました。またクラウドファンディングによる資金集めのお話は、今後の市民活動の参考になるはずです。

横田祥さん素敵なお話をありがとうございました。



## 市民生活の知恵出し講座 報告

### 市民生活の知恵出し講座

#### 「子ども食堂のリアル、私たちの踏み出すはじめての一步について考える」

師走も半ばの12月14日(日)、表題の講座を龍ヶ崎市市民活動センター主催、センター大会議室にて開催しました。

講師はNPO commonsの尾崎知弥さん。子ども食堂が直面している現実を、わかりやすくリアルに解説していただきました。

食堂という言葉の中には、食の支援だけでなく、子どもだけでなく、さまざまな視点からの居場所を作り互いに支え合うことが重要だという学びがありました。

既に子ども食堂に関わっている経験者も多かった講座参加者は全部で11名。ワークシートでいねいに意見を拾ってくださる講師と参加者の間に、熱いケミストリーが発生していました。

この講座が龍ヶ崎の居場所つくりを、一歩も二歩も進めてくれるに違いありません。commonsからは大野覚さんも来てくださり、質疑応答にも参加いただきました。皆さんありがとうございました。



○龍ヶ崎短歌会  
「らぼう」のテレビドラマで江戸を知る出版業界と幕府の圧力  
孫娘成人式の晴れ姿まばゆいばかりしばし眺むる  
○龍ヶ崎コミュニケーションハウス俳句講座  
竹爆ぜる音晴朗や大焚火  
道祖神へ太鼓一打ち淑気満つ

田中澄

岐部夏子

笹谷 裕子

後藤 恭介

